

お申し込み

①パナソニック エレクトリックワークス創研のホームページへアクセス

パナソニック 創研 検索

②TOPページのメニュー「電材業界支援」または「電材コネクト」をクリック

➡「eラーニング講座」のバナーをクリック



TOPページ

お問い合わせ

パナソニック エレクトリックワークス創研株式会社
電材・住建営業推進センター

西日本担当 TEL. **06 - 6908 - 6764**
東日本担当 TEL. **03 - 3507 - 7630**

ご利用の流れ

お申し込み^{注1}

動作環境と規約をご確認の上、お申し込みください。

受理のご連絡

ご入力いただいた連絡先に受付確認のご連絡をします。
※受講料・ご請求についてもご案内します。

開講案内

受講者・管理者のメールアドレスへ受講案内をお送りします。

注1 準備の都合上、受講開始希望日の10営業日前までに、お申し込みをお願いします。

費用 ※費用は、①受講料 ②基本設定料 の合計になります。

項目	費用	条件
①受講料	講座別受講料×受講者数	受講者 1 名につき 1 ID発行 ※情報セキュリティ、コンプライアンス、メンタルヘルスの講座については 10IDへの受付となります。
②基本設定料	開講日ごとに5,000円（税込 5,500円） 30名まで ^{注2}	【設定内容】 ・お会社様専用環境の設定 ・受講案内メール配信 ・受講者情報の登録 ・管理者設定（進捗管理可能） ・フォローメール配信（3回）

注2 31名以上で受講される場合は、別途見積りさせていただきます。

※管理者もeラーニングを受講する場合は有料となります。受講者数には、受講する管理者の人数も加えてください。

※通信料は受講者のご負担となります。

動作環境

	OS	ブラウザ	ディスプレイ解像度	その他
Windows	Windows® 10/ 11	Microsoft Edge™ Mozilla Firefox® Google Chrome™	XGA (1024×768) 以上 その他： JavaScript、Cookieが 利用可能な環境	※ヘッドフォン / スピーカーをご使用ください。 ※Microsoft Windows®8及びMicrosoft Windows®10は、Web ブラウザとUIモードの組み合わせによって、正常に操作が行えない場合があります。 ※スマートフォン、タブレット端末では、標準搭載されているWeb ブラウザを推奨しています。 （【iOS】Safari®、【Android】Google Chrome™） ※各ブラウザは最新版をサポート対象としています。推奨動作環境 として掲載のあるWebブラウザでも、マイナーバージョンによ っては正常に動作しない場合があります。 ※Webブラウザのシェアなどによって、サポートするWebブラウ ザーの種類やバージョンを見直す場合があります。
Mac	macOS 12 / 13 / 14	Safari®		
スマートフォン タブレット	iOS 16 / 17 iPadOS 16 / 17 Android 12/ 13/ 14	iOS/iPadOS : Safari® Android : Google Chrome™		

【管理者画面】スマートフォン場合は、実行解像度 横幅960px以上でかつ、ブラウザの表示モードをPC版サイト表示モードに変更した場合のみ管理者機能をご利用いただけます。
この条件を満たさない場合は、スマートフォン向けに最適化された管理者メニューのない受講者画面になります。

※Internet Explorer®は、2022年6月16日（日本時間）の Microsoft 社のサポート終了に合わせて、動作環境対象外となりましたのでご了承ください。

ek-Bridgelは、Microsoft、Apple、Googleの各社がOSをサポートする期間をもとにサポート対象を決定しています。

※Microsoft、Apple、Googleの各社がOSをサポートする期間をもとにサポート対象を決定しています。

パナソニック エレクトリックワークス創研株式会社

電材・住建営業推進センター

西日本担当（本社）

〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048

TEL：06-6908-6764 FAX：06-6907-3426

東日本担当（東京研修所）

〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-6

TEL：03-3507-7630 FAX：03-3507-7631

Panasonic Electric Works Business Consulting & Training Co., Ltd.

本書からの無断の複製は固くお断りします。

このチラシの記載内容は2024年4月現在のものです。

Panasonic

創研スタディ



公開研修
〔集合〕



公開研修
〔オンライン〕



オーダーメイド
研修

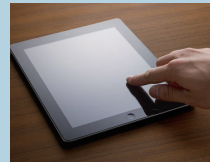


e-
ラーニング

電材関連

おすすめ eラーニング

電材業界の「入門編」となる
当社オリジナルeラーニング講座です



これだけは知っておきたい



e- 電気の基礎知識



e- SDGs の基礎



e- あかりの基礎



e- 情報通信の基礎



e- 電設資材



e- 住宅のエネルギー・
マネジメント
システムの基礎



e- 空調の基礎



e- 自動火災報知設備・
住宅用火災警報器の基礎



e- 換気の基礎



e- ビルができるまで

こんなお会社におすすめです！



研修を実施したいが、忙しくて時間がない



研修を実施したいが、遠くて集まりにくい



研修を実施したいが、受講者数が少ない

2024.04

パナソニック エレクトリックワークス創研株式会社 <https://panasonic.co.jp/ew/pewbct/>

新しい社員教育のカタチ

創研eライブラリ

インターネットやデバイスなど ICT の進展により、
企業活動や個人のライフスタイルは大きく変化しています。
特に動画サービスの進展はめざましく、通勤などの移動時間での
利用者は増大しています。

創研 e ライブラリでは、皆さまの用途に合わせて
さまざまなメニューをご用意しています。
インターネット環境さえあれば
簡単に、安価に、効率よく 学ぶことができます。
ぜひとも社員教育にご活用ください。

※ご利用の流れ・費用などにつきましては最終ページをご確認ください

お申し込みは
こちら



創研eライブラリ

パナソニック エレクトリックワークス創研
株式会社が提供する、インターネットを利用して
学ぶことができるデジタルコンテンツです。

- マルチデバイス対応！
(パソコン、タブレット、スマートフォン)
- クラウドでの提供！
- 管理機能が充実！
ex. 進捗管理、フォローメール等

これだけは知っておきたい e- 電気の基礎知識

標準学習時間：講義 約 90 分＋確認テスト 商品コード：SEA007

- | | |
|--------------------------|--------------------------------|
| 1. 知っておきたい電気の基礎 | 11. 短絡 |
| 2. 発電所から家庭までの
電気の流れ | 12. エネルギーをムダなく
効率的に利用 |
| 3. 「低圧受電」と「高圧受電」の
しくみ | 13. 効率の高い設備機器
(省エネ機器) のおすすめ |
| 4. 電気の配線方式 | 14. 簡単な省エネルギー計算 |
| 5. 分電盤の位置づけと電気の流れ | 15. 家電製品の消費電力を
意識しよう |
| 6. 電気の単位を覚えよう！ | 16. 節電・節水・節約に
つとめよう |
| 7. 電気の用語 | |
| 8. 電気容量と過電流 | |
| 9. 漏電 | |
| 10. 接地(アース)と感電 | |

(他 4 項目)

これだけは知っておきたい e- あかりの基礎

標準学習時間：講義 約 60 分＋確認テスト 商品コード：SEA002

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. あかりの歴史 | 11. お役立ちツール |
| 2. あかりの基礎知識【光編】 | 12. あかりの用語集
(参考資料) |
| 3. あかりの基礎知識【ランプ編】 | |
| 4. あかりの基礎知識【LED 編】 | |
| 5. 器具スタイル | |
| 6. 消費電力 | |
| 7. 照明の市場動向 | |
| 8. シニアのあかり | |
| 9. プランニング | |
| 10. 照明カタログ | |

これだけは知っておきたい e- 電設資材 ～電気の基礎と身近な電気設備～

標準学習時間：講義 約 160 分＋確認テスト 商品コード：SEA001

知っておきたい電気の基礎 編

1. 知っておきたい電気の基礎
2. 発電所から家庭までの
電気の流れ
3. 「低圧受電」と「高圧受電」の
しくみ
4. 電気の単位を覚えよう！
5. 電気の用語
6. 電気容量と過電流
7. 定格消費電力
8. 漏電
9. 接地(アース)と感電
10. 短絡
11. 欠相(異常電圧)

住宅分電盤 編

1. 分電盤とは
2. 用途別にみた盤の種類
3. 分電盤の位置づけと
電気の流れ
4. 住宅分電盤は電気供給のかなめ
5. 住宅分電盤 各部の名称
6. 住宅分電盤の設置例
7. ブレーカの種類
8. 過電流
9. リミッターと主幹ブレーカの
違い
10. 契約電流(契約アンペア)に
ついて
11. スマートメータ導入に伴う
リミッターの取り扱い
12. 分岐回路数の決め方
13. 住宅分電盤の選定方法
14. 住宅分電盤 回路図の見方例
15. 用途別分電盤

配線器具 編

1. スイッチ・コンセントの基礎
2. スイッチの基礎
3. スイッチの取り付け方
4. 高機能スイッチ
5. コンセントの基礎
6. 接地極付コンセントが義務化
(内線規程改定)
7. 感電を防ぐ接地(アース)のとり方
8. 屋外用配線器具
9. コンセントの種類
10. 充電用 USB コンセント
11. 4 K・8 K 衛星放送対応
テレビコンセント
12. 情報配線部材・LAN 機器
13. 自動点滅器<EE スイッチ>
Electric Eye
14. 充電設備について 充電器の種類
15. EV・PHEV 充電用 充電設備
(普通充電)

配管材 編

1. 電線管とは
2. 電線管および付属品の用途
3. 電線管工事の概要
4. 電線管の種類
5. 金属製電線管・付属品
6. 金属製電線管の種類
7. 金属製電線管用付属品
8. 電気配管 事例【屋内・屋外】
9. 合成樹脂製可とう電線管
10. 合成樹脂製可とう電線管の
用途(施工例)
11. 合成樹脂製可とう電線管用付
属品

これだけは知っておきたい e- SDGs の基礎

標準学習時間：講義 約 60 分＋確認テスト 商品コード：SEA010

- | | |
|---|--|
| 1. SDGs の基礎知識
・SDGs とは
・SDGs のできた背景
・SDGs の世界の動き | 4. SDGs の具体的な取組み方
・具体的取組み手順
・取組み方法について |
| 2. 日本の SDGs の取組み
・日本政府の SDGs の取組み | 5. SDGs の取組み事例紹介 |
| 3. 企業・個人の SDGs の取組み
・企業の SDGs の取組み
・企業の社会貢献
・個人の SDGs の取組み | |



これだけは知っておきたい e- 住宅のエネルギーマネジメントシステムの基礎

標準学習時間：講義 約 65 分＋確認テスト 商品コード：SEA008

- 1 章 エネルギーマネジメントシステムについて
・エネルギーマネジメントとは
・エネルギーマネジメントシステムの種類と概要
- 2 章 エネルギーマネジメントを取り巻く環境
・エネルギーマネジメントシステムの普及の背景
・エネルギーマネジメントシステムで達成すべき項目
- 3 章 住宅の省エネについて
・省エネ基準と ZEH ・高効率電気設備
・太陽光発電システムと蓄電システム
- 4 章 HEMS について
・HEMS とは ・HEMS の商品構成

「エネルギーマネジメントアドバイザー資格認定講座【e ラーニング】」もあります。
詳しくは当社ホームページをご覧ください。



これだけは知っておきたい e- 空調の基礎

標準学習時間：講義 約 45 分＋確認テスト 商品コード：SEA004

1. 建築設備とは
2. 気象と室内気候
3. 熱と通風
4. 空気線図
5. エアコンの仕組み
6. ハウジングエアコン
7. パッケージエアコン
8. その他 業務用の空調方式
9. 省エネ性
10. 環境問題

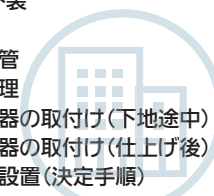


これだけは知っておきたい e- ビルができるまで

非住宅

標準学習時間：講義 約 90 分＋確認テスト 商品コード：SEA003

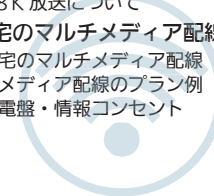
- | | |
|-----------|--------------------|
| 1. ビルの計画 | 11. 地下構造物 |
| 2. ビルの設計 | 12. 上部構造 |
| 3. 見積り | 13. 屋上 外装 |
| 4. 契約 | 14. 内装 |
| 5. 材料の指定 | 15. 配線配管 |
| 6. 機器の指定 | 16. 貫通処理 |
| 7. 着工準備 | 17. 設備機器の取付け(下地途中) |
| 8. 着工 | 18. 設備機器の取付け(仕上げ後) |
| 9. 施工図 | 19. 設備の設置(決定手順) |
| 10. 杭打ち地業 | 20. 外構 竣工 |



これだけは知っておきたい e- 情報通信の基礎

標準学習時間：講義 約 75 分＋確認テスト 商品コード：SEA009

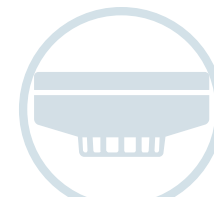
- | | |
|--|---|
| 1. 情報通信システムの進化 | 4. 映像の基礎
・テレビ放送の種類
・テレビの設置に必要な機器
・新 4 K 8 K 放送について |
| 2. 電話の基礎
・電話回線の種類
・アナログ回線
(アナログ電話、ISDN)
・I P 電話
・光電話 | 5. 戸建住宅のマルチメディア配線
・戸建住宅のマルチメディア配線
・マルチメディア配線のプラン例
・情報分電盤・情報コンセント |
| 3. インターネットの基礎
・インターネットの基本
・有線 LAN とは
・無線 LAN とは
・Wi-Fi、BlueTooth、5 G の違い | |



これだけは知っておきたい e- 自動火災報知設備・住宅用火災警報器の基礎

標準学習時間：講義 約 50 分＋確認テスト 商品コード：SEA006

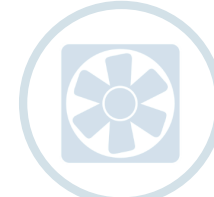
1. 自動火災報知設備とは
2. 受信機の機能
3. 自動火災報知設備構成機器
・P 型受信機
・R 型受信機
・その他の受信機
・感知器
・発信機、地区音響装置、表示灯
4. 検定制度と型式失効、設置・点検
5. 住宅用火災警報器



これだけは知っておきたい e- 換気の基礎

標準学習時間：講義 約 45 分＋確認テスト 商品コード：SEA005

1. 空気調和とは
2. 空気調和と換気
3. 換気方式
4. 機械換気の種類と選定
5. 換気設計
6. 換気量の求め方
7. 排煙設備



ご利用の流れ、費用（受講料・基本設定料）、動作環境
などにつきましては、裏面もしくは、当社ホームページを
ご確認ください。

受講期間

2 カ月

費用

- ①受講料
各講座ごとに **5,000 円**(税込 5,500 円)/1 名
- ②基本設定料
開講日ごとに **5,000 円**(税込 5,500 円) ※30 名まで
31 名以上で受講される場合は、別途見積りさせていただきます。

掲載の e ラーニング以外にも、「e- 建築基礎知識 初級(1)【構造・図面編】」「e- 建築基礎知識 初級(2)【施工・法規編】」「e- 住宅設備基礎知識」など住宅建築関連のコンテンツも多数ご用意しております。